

令和7年度 第3学年 国語科 年間指導計画(年間105時間)

目標	・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
----	---

評価の観点：①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4	3	【詩】 世界はうつくしいと	1 詩を音読する。 2 詩を読み深める。 3 詩の特徴を生かして朗読する。	①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ③進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。
	6	【小説】 握手	1 作品を通読する。 2 作品の設定を捉える。 3 登場人物の心情や人物像を読み取る。 4 読み深めた感想を交流する。 5 学習を振り返る。	①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ②「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ③物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。
	1	【話す・聞く】 意見を聞き、適切さを判断する	1 坂本さんのスピーチの練習を聞く。 2 スピーチをよりよくするための助言を考える。 3 学習を振り返る。	①情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) ②「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ③聞き取った内容や意見と根拠の適切さを進んで評価し、今までの学習を生かして助言を考えようとしている。
	4	【話す・聞く】 説得力のある構成を考えよう	1 話題を決め、情報を集める。 2 話の構成を考える。 3 スピーチの会を開く。 4 交流する。 5 学習を振り返る。	①「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(A(1)イ) ②「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ③相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを伝えようとしている。
	1	【言葉1】 相手や場に応じた言葉遣い	1 導入の例を読み、相手や場に応じた言葉遣いについて関心をもつ。 2 相手や場に応じた言葉遣いについて理解する。	①敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。((1)エ) ③相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
5	5	【漢文・解説】 学んで時に之を習ふ —「論語」から	1「論語」について知る。 2「論語」を読み、孔子の考え方を読み取る。 3 日常生活を振り返り、孔子の言葉が当てはまると思われる体験を伝え合う。 4 学習を振り返る。	①歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3)イ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) ③人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を

6 ◆				もち、今までの学習を生かして考えを伝え合おうとしている
	5	【論説】 作られた「物語」を超えて	1 全文を通読する。 2 論理の展開を捉える。 3 筆者の主張を捉える。 4 筆者の主張について考え、文章にまとめる。 5 学習を振り返る。	①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) ②「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ③進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
	4	【書く】 論理の展開を意識して書こう	1 課題に沿って材料を集める。 2 構成や内容を考える。 3 小論文を書く。 4 交流する。 5 学習を振り返る。	①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) ②「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) ③論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。
	5	【俳句・解説】 俳句の可能性 俳句を味わう 【書く】 俳句の創作教室	1 俳句の特徴を確認する。 2 筆者の評価のしかたを捉える。 3 好きな俳句を選び、鑑賞文を書く。 4 学習を振り返る。 5 「俳句の創作教室」に取り組む。	①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ②「読むこと」において、俳句の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) 「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。(B(1)ウ) ③進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
	3	【随筆】 言葉の釣り糸を垂らす	1 全文を通読する。 2 題名の意味を捉える。 3 筆者のものの見方や考え方について考える。 4 文章を読んでよいと思ったところを話し合う。 5 学習を振り返る。	①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ②「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ③筆者のものの見方や考え方を積極的に読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
7	1	【言葉2】 和語・漢語・外来語	1 P72 導入の例を基に、和語・漢語・外来語の表現を比較し、受ける印象の違いについて考える。 2 教材文を読み、和語・漢語・外来語・混種語について理解する。 3 言葉の変化について知る。 4 相手に合わせて、言葉を選ぶ。	①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。((3)ウ) ②進んで和語・漢語・外来語を理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。学習課題に沿って相手や場面に応じた言葉を選んで伝えようとしている。
	3	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう 情報の信頼性	1 P76「やってみよう」①に取り組む。 2 P77「やってみよう」②に取り組む。 3 P78-81の報道文 A・B を通読し、P82「やってみよう」に取り組む。 4 P84の教材文を通読し、問題1に取り組む。 5 P85の教材文を通読し、問題2に取り組む。	①話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。((1)ウ) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) ②「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文

7 9 ◆			6 学習を振り返る。	章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ③文章の種類を踏まえて、積極的に情報を読み取り、学習課題に沿って実生活への生かし方を考えようとしている。 文章の構成や論理の展開、表現のしかたなどを進んで捉え、学習課題に沿って報道文を比較し、自分の考えをまとめようとしている。
	3	【詩】 挨拶 —原爆の写真によせて	1 作品を通読し、当時の時代背景について確認する。 2 「顔」が象徴しているものを捉える。 3 表現の効果を評価する。 4 自分の意見を述べる。 5 学習を振り返る	①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ②「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) 「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) ③詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
	6	【小説】 故郷	1 作品を通読し、作品の設定を捉える。 2 場面や登場人物の設定に着目して読み深める。 3 読み深めたことを基に、作品を批評する。 4 学習を振り返る。	①自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) ②「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) ③文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、これまでの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
	2	論理の展開を整える	1 P120 上段の文章を通読したうえで、語句・表現や叙述のしかたを見直し、文章を整える。 2 目的や読み手に合わせて、表現や論理の展開を整える。 3 読み手からの助言を踏まえて、確かめる。 4 学習を振り返る	①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) ②「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(B(1)エ) 「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) ③目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。
	1	【言葉3】 慣用句・ことわざ・故事成語	1 導入の例のような、一まとまりで決まった意味をもつ言葉をできるだけたくさん書き出す。 2 教材文を読み、慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。 3 学習を振り返る。	①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ③慣用句やことわざ、故事成語の意味や使い方について積極的に調べて理解し、これまでの学習を生かして短文を作ろうとしている。
	2	【話す・聞く】 聞き上手になろう	1 対談の準備をする。 2 対談を行う。 3 学習を振り返る。	①敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。((1)エ) ②「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら

10				聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ) ③話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして対談しようとしている。
	2	【漢字2】 漢字の造語力	1 導入の文章を読み、新しい言葉が考え出された経緯を知る。 2 教材文を読み、「翻訳語」と「新しい語」の側面から漢字の造語力について知る。 3 練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。	①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ③学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	4	【論説】 複数の意見を読んで、考えよう —世界が一つに決まらない課題と向き合う	1 3人の筆者の提言を通読する。 2 文章の要旨を捉える。 3 文章を比較して評価する。 4 グループで討論し、提言に対する評価を基に、自分の考えをまとめる。 5 学習を振り返る	①自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) ②「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ③三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
	5	【書く】 考えを効果的に伝えよう	1 題材を選ぶ。 2 観点を決めて分析する。 3 構成を考える。 4 批評文を書く。 5 学習を振り返る。	①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) ②「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) ③自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。
11 ◆	2	【詩】初恋	1 朗読音声を聴き、言葉の響きやリズムを味わう。 2 語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合う。	①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ③進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。
	3	【古文】 和歌の世界 古今和歌集 仮名序	1 P146「和歌の世界」を読む。 2 P148「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を朗読し、作者の思いを想像する。	①歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) ③進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	4	【古文】君待つと —万葉・古今・新古今	1 歴史的背景を捉える。 2 和歌の表現について話し合う。 3 表現のしかたについて評価する。 4 学習を振り返る。	①歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3)イ) ②「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ③進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見通しをもって自分の評価を書こうとしている。
	7	【古文】 夏草 —「おくのほそ道」から	1 作品を声に出して読む。 2 芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。 3 心に響く俳句について発表する。	①歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3)イ)

12			4 学習を振り返る。	②「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ③作者のものの見方や感じ方について進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表しようとしている。
	5	【論説】 それでも、言葉を	1 本文を通読し、言葉に対する筆者の考えを捉える。 2 筆者の見方・考え方に対する理解を深める。 3 言葉との向き合い方について自分の意見をもつ。 4 学習を振り返る。	①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) ②「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) ③言葉や社会、人間などについて粘り強く自分の意見をまとめ、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて話し合ったり発表したりしようとしている。
	2	【漢字3】 漢字のまとめ	1 二年生までに学習した漢字を復習する。 2 三年生で学習した漢字を復習する。 3 P182「漢字に親しもう4」の問題に取り組む。	①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでみる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ③学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	1	【話す・聞く】 話し合いを効果的に進めよう	1 進行役の最後の発言に続く形で、参加者から出た意見を整理する。 2 進行役の発言の効果を考える。 3 学習を振り返る。	①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) ②「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) ③積極的に進行の工夫とその効果を分析し、今までの学習を生かして話し合いの効果的な進め方について考えようとしている。
	4	【話す・聞く】 合意形成に向けて話し合おう	1 議題を決める。 2 グループで提案を考える。 3 全体会議を開く。 4 合意形成のポイントを振り返る。	①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) ②「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) ③合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
	2	【随筆】 温かいスープ	1 時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読する。 2 筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。 3 国際性について自分の考えをもち、伝え合う。	①自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) ③人間、社会などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
2 ◆	2	【随筆】 アラスカとの出会い	1 全文を通読する。 2 筆者の生き方や考え方を読み取る。 3 筆者の生き方や考え方について話し合う。	①自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) ③人間、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。

3	1	【随筆】 律儀な桜	1 全文を通読する。 2 人と自然、時とともに変わるもの、変わらないものに思いをはせる。	①自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) ③人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして文章にまとめようとしている。
	2	【詩】 わたしを束ねないで	1 朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。 2 作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。	①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ②「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) ③詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
	1	【詩】初日	1 朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。 2 詩の中の言葉や表現から、描かれた情景や心情を捉え、その内容について話し合う。 3 P226「漢字に親しもう5」の練習問題に取り組む。	①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ②「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) ③詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の内容について話し合おうとしている。
	3	国語の力試し	1 P243-246の問題に取り組む。 2 P242の二次元コードから、発展問題に取り組む。 3 振り返る。	①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) ②「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) 「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) 「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) 「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ③粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。
通年	20	書写	硬筆…日本生活のいろいろな場面に応用できる美しい文字の書き方を学ぶ 毛筆…基本点画をもう一度練習しながら、さらに上級の課題に取り組んでいく。	丁寧で正しい文字を書くという目標を達成している。

評価計画（各観点の評価方法）

観 点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。
評 価 の 方 法	・漢字テストなどの小テスト ・定期考査 ・書写	・授業時に行う発表・話し合い活動 ・提出物(ワークシート、作文、レポートなど) ・定期考査	・授業態度(発言／態度) ・小テスト ・試験の振り返り ・提出物(ワークシート、振り返り、ワーク) ・定期考査

学習のアドバイス

(1)授業態度

- ・積極的に発言をするなど、進んで授業に参加しましょう。
- ・分からないところは自ら先生に質問したり、調べたりしましょう。
- ・板書されたものをワークシートに書くだけでなく、先生の話や仲間の意見から出た重要なことはメモをとりましょう。

(2)提出物

- ・計画的に学習を進め、期日を守って提出してください。
- (定期考査後や夏季休業明けなどには、ワークの提出が必要な場合があります。)

(3)単元ごとのふりかえり

- ・自分の課題を把握して、それを改善しようとするのが大切です。そのために単元の振り返りを活用しましょう。
- ・評価基準は、年度当初の授業で出した通りです。

(4)家庭学習

- ・一番大切なのは授業プリントの見直しです。答えだけでなくどのような過程で考えたのか、学習した内容をしっかりと復習しましょう。
- ・教科書本文の音読をしましょう。声に出して繰り返し音読することで、内容理解が深まります。また、漢字の読み方の復習にもなります。
- ・単元が終わったらワークの問題に取り組みましょう。定期考査前には繰り返し問題を解きましょう。ただし、答えを暗記するのではなく、なぜその問題が出されるのか、問われていることは何かを考えてみましょう。
- ・定期考査では漢字の問題が出題されます。計画的にワークや小テストの見直しに取り組み、定期考査前には復習するようにしましょう。
- ・教科書やワークに出てくる語句の意味を調べ、進んで語彙を増やすようにしましょう。

令和7年度 第3学年 社会 年間指導計画・評価計画(年間140時間)

目標	社会的事象に関心を持ち、資料を適切に理解し、表現する技能を養うとともに、歴史的・公民的資質の基礎を培う。
----	--

評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	【領域：歴史】 単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5	6	激動する東アジアと日清・日露戦争	・条約改正の歩みや日清・日露戦争についてとらえ、日本の国際的地位が向上したことを、大陸との関係と関わらせて理解する。 ・日清・日露戦争を通じて、日本をとりまく国際関係が変化したことについて考える。	①日清・日露戦争、条約改正などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、日本の国際的な地位が向上したことを理解している。 ②議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本と世界との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国際的な視野に立って、日本の国際的な地位が向上したことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。
5 6 ◆	6	近代の産業と文化の発展	・日本でも産業革命が進み、近代産業が発展したことで、それによる社会の変化について理解する。 ・学問・教育・科学・芸術の発展を背景に、近代文化が形成されたことを理解する。	①知日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。 ②近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発展が国民生活や文化に与えた影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問や教育の発展について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。
6 7	6	第一次世界大戦と民族独立の動き	・第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きについて理解する。 ・第一次世界大戦前後の国際情勢や、大戦後に国際平和への努力がなされたことを、日本の動きと関わらせて理解する。	①第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、第一次世界大戦前後の国際情勢及び日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ②世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦による世界と日本の社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
9	3	大正デモクラシー	・政党政治の確立や民主主義思想の普及、社会運動の高まりについてとらえ、大正時代に国民の政治的自覚が高まったことを理解する。 ・都市化やメディアの発達などを背景に、文化の大衆化が進んだことを理解する。	①日本の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、政党政治の展開や、社会運動の広まり、女性の社会的進出、大都市の発達や人々の生活様式や意識の変化を理解している。 ②世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、戦争による世界と日本の社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③第一次世界大戦前後の日本の政治・社会・文化における変化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
9 ◆ 10	6	恐慌から戦争へ	・経済的世界的な混乱が発生した原因や、各国への影響について考える。 ・昭和初期から第二次世界大戦の開戦までの日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民生活についてとらえ、軍部の台頭から戦争までの経過を理解する。	①経済的世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期の日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、軍部の台頭から戦争までの経過について理解している。 ②経済の変化と政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、二度目の世界大戦に向かっていった理由について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③経済的世界的な混乱と各国への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
10 11	6	第二次世界大戦と日本の敗戦	・第二次世界大戦の開戦から終結までの各国や日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、戦時下の国民生活についてとらえ、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。 ・第二次世界大戦が及ぼした惨禍をふまえ、国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気づく。	①第二次世界大戦の終結までの日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、戦争の経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。 ②世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③第二次世界大戦の開戦から終結までの各国や日本

				の動き、そして、この大戦が及ぼした惨禍について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
11 ◆ 12	5	日本の民主化と冷戦	・第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程について理解する。 ・冷戦の始まりや朝鮮戦争などの世界の動きのなかで、新しい日本の建設が進められたことを理解する。	①冷戦、日本の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 ②戦後の展開と国際社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
12 1	5	世界の多極化と日本	・ベトナム戦争や中東戦争などの世界の動きを背景に、日本の高度経済成長が石油危機により終焉するまでの過程について、安保改定・沖縄返還・日中国交正常化などの国際社会との関わりをなかで理解する。 ・日本の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上したことを理解する。	①高度経済成長、国際社会との関わりなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解している。 ②政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、国民生活への影響と国際平和の実現への努力などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③冷戦下の国際社会の中における日本の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
1 2 ◆	5	冷戦の終結とこれからの日本★	・冷戦終結後の変動する世界と日本の動きについてとらえ、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解する。 ・環境・人権・平和などをめぐる様々な課題が残されていることに気づき、これからの未来をひらくためにどのように社会と関わればよいのか考える。	①冷戦の終結、国際社会との関わりなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解している。 ②政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、国民生活への影響と国際平和の実現への努力などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③冷戦終結後の変動する世界と日本の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

月	時間	【領域：公民】 単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5	1 1	第1章 現代社会と私たち ★★	・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解させる。 ・現代社会における文化の意義や影響について理解させる。 ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。 ・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させる。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 ・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	①現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 ①現代社会における文化の意義や影響について理解している。 ①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 ①人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 ②位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ②位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ②対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 ③現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
6 ◆ 7	1 5	第2章 個人の尊重と日本国憲法 ☆◇	・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解させる。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させる。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解させる。	①人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ①民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ①日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。

			・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	①日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 ②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
7 9 ◆ 10	2 2	第3章 現代の民主政治と社会	・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させる。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解させる。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させる。 ・地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	①国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ①議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ①国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ①地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。 ②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
11 ◆ 12	2 2	第4章 私たちの暮らしと経済 ★	・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解させる。 ・市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解させる。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解させる。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	①身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ①市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ①現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ①勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ①社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ①財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 ②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 ②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ③国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

1 2 ◆	1 4	第5章 地球社会と私たち★	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解させる。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	①世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ①地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 ②対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
-------------	--------	---------------	--	---

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	世界や日本の諸地域・歴史、現代の社会的事象についての知識を身に付けているとともに、様々な情報を効果的に調べ、まとめている。	地理や歴史、現代の社会生活に関わる事象と関連付けて、地域の特色や年代、現代社会の特色を多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりしている。	地理や歴史、現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現や現代社会に見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評 価 の 方 法	・提出物 (ワークシート・ノート・問題集) ・小テスト・定期考査 等	・提出物 (ワークシート・ノート・問題集) ・定期考査 等	・提出物 (ワークシート・ノート・問題集) ・授業への取り組み 等

学習のアドバイス

(1)授業態度

- ①先生や他の生徒の発言なども集中して聞くとともに、しっかりメモを取り、授業中の内容をしっかりノートにまとめましょう。
- ②発言や話し合いを積極的にを行い、自分の意見や考え方を人に伝えられるようにしましょう。

(2)家庭学習

- ①授業や単元ごとにワークなどを活用し、計画的な復習を心がけましょう。
- ②わからない問題や間違えた問題は解答や教科書や資料集で調べるとともに、わからなければ早めに先生に質問しましょう。
- ③ワークなどは複数回解くことを心掛け、知識の定着に努めましょう。
- ④問題集を解く力に余裕のある人は入試の過去問など難しい問題に挑戦し、力をつけていきましょう。

(3)単元ごとのふりかえり

- ①年表やグラフ、図などに単元の内容をまとめると理解が深まります。
- ②ワークの単元のまとめも参考にするとよいでしょう。

令和7年度 第3学年 数学科 年間指導計画・評価計画(年間140時間)

目標	・基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする能力を身につける。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気づいて、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う。
----	---

【 評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度 】

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
数量				
4 5	14	式の計算	・1 次式の乗法の基礎的な計算ができる。 ・展開の公式がもつ意味を理解し、式を能率よく処理することができる。 ・既に学習した計算の方法と関連付けて、計算方法を考察し、説明することができる。 多項式の計算 因数分解 式の計算の利用	①問題を解く手順を理解している。 (授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②応用問題等に積極的に取り組み、考えを表現したり解決したりする。 (授業での取り組み、プリント、小テスト、定期考査) ③自ら進んで問題を解こうとする。 (授業での取り組み、問題集、プリント)
5 6 ◆ 7	17	平方根	・数の平方根の必要性和意味を理解する。 ・平方根をふくむ式の計算の方法を考察し、説明することができる。 ・分母を有理化する方法を考えようとする。 平方根 根号を含む式の計算	①問題を解く手順を理解している。 (授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②応用問題等に積極的に取り組み、考えを表現したり解決したりする。 (授業での取り組み、プリント、小テスト、定期考査) ③自ら進んで問題を解こうとする。 (授業での取り組み、問題集、プリント)
7 9 ◆ 10	15	2次方程式	・2 次方程式の必要性和意味、解の意味を理解する。 ・2 次方程式を解く方法を考察し、説明することができる。 ・2 次方程式を能率的に解く方法を考えようとする。 2次方程式 2次方程式の利用	①問題を解く手順を理解している。 (授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②応用問題等に積極的に取り組み、考えを表現したり解決したりする。 (授業での取り組み、プリント、小テスト、定期考査) ③自ら進んで問題を解こうとする。 (授業での取り組み、問題集、プリント)
10 11 ◆	17	関数 $y=ax^2$ ★	・関数 $y=ax^2$ のグラフの特徴を理解する。 ・関数 $y=ax^2$ を具体的な場面で利用することができる。 ・関数 $y=ax^2$ の表、式、グラフを相互に関連付けようとする。 関数 $y=ax^2$ 関数の利用	①グラフを書くことができ、式にも表すことができる。 変化の割合とグラフの特徴を理解している。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②事象に潜む関係やきまりをとらえ、順序よく筋道をたてて考えている(プリント、小テスト、定期考査) ③関数に関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。(授業での取り組み、プリント、レポート)
11 12	15	三平方の定理	・三平方の定理とその逆の意味を理解する。 ・三平方の定理を具体的な場面で利用できる。 ・三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとする。 三平方の定理 三平方の定理の利用	①基本問題を理解し、解くことができる。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②進んで問題解決に取り組み、様々な考え方ができる。(授業での取り組み、プリント、小テスト、定期考査) ③図形に関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。(授業での取り組み、プリント、小テスト)
1	8	標本調査	・標本調査の必要性和意味を理解する。 ・標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断する。 ・標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとする。 母集団と標本	①基本問題を理解し、解くことができる。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②進んで問題解決に取り組み、様々な考え方ができる。(授業での取り組み、プリント、小テスト、定期考査) ③標本調査に関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。(授業での取り組み、プリント、小テスト、定期考査)
1 2 ◆ 3	20	いろいろな問題	総合的な問題に取り組むことができる。	総合的な問題を解くことができる。 (ワークシート、小テスト、定期考査)

図形				
4 5 6 ◆ 7	20	相似	- 相似な図形の性質や三角形の相似条件を理解する。 2つの三角形が相似であるかどうかについて、三角形の相似条件をもとにして説明することができる。 - 三角形と線分の比についての性質を統合的にとらえようとする。 相似な図形 平行線と線分の比 相似の利用	①基本問題を理解し、解くことができる。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②進んで問題解決に取り組み、様々な考え方ができる。(授業での取り組み、レポート、小テスト、定期考査) ③図形に関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。(授業での取り組み、レポート、小テスト、定期考査)
9 ◆ 10 11	10	円	- 円周角と中心角の関係の意味を理解する。 - 円周角の定理や、円周角と中心角の関係を具体的な場面で利用できる。 - 円の接線の作図を見通して立てて行おうとする。 円周角の定理 円周角の定理の逆 円の性質の利用	①基本問題を理解し、解くことができる。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②進んで問題解決に取り組み、様々な考え方ができる。(授業での取り組み、レポート、小テスト、定期考査) ③図形に関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。(授業での取り組み、レポート、小テスト、定期考査)
12 1 2 ◆ 3	5	いろいろな問題	総合的な問題に取り組むことができる。	総合的な問題を解くことができる。 (ワークシート、小テスト、定期考査)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	- 基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 - 事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	- 数の性質や計算について考察したり、数量の関係や法則などを考察したりする。 - 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する。 - 特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する。 - 母集団の傾向を推定し判断し、調査の方法や結果を批判的に考察する。	- 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考える。 - 数学を生活や学習に生かし、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。 - 多様な考えを認め、よりよく問題解決している。
評 価 の 方 法	- 授業での取組 - 提出物(プリント) - 小テスト - 定期考査	- 授業での取組 - 提出物 (ワーク・プリント・テスト直し) - 小テスト - 定期考査	- 授業での取り組み - 提出物 (問題集・プリント・テスト直し) - 小テスト - 定期考査

学習のアドバイス

(1)授業態度

- 積極的に発言する、周りと相談するなど、進んで授業に参加する。
- 分からないところは自ら先生やクラスメイトに質問したり、調べたりする。
- 集中して授業に臨み、先生の話やクラスメイトの意見から学ぼうとする。
- 授業を受ける姿勢、忘れ物をなくすこと、提出物などを意識して授業を受ける。
- すでに学んだことをもとに、新しい性質や考え方を見付けようとする。
- ノートは見直しやすいように書く。
- ノートには、板書だけでなく先生の説明や気付いたことを書きたす。

(2)提出物

- ワークは早めに取り組み、丸付けを丁寧に行う。途中式や考え方も書く。
- ワーク、テスト直し、プリントは必ず提出日までに提出できるよう、計画的に進める。

(3)単元ごとのふりかえり

- 自分の課題を把握して、それを改善しようとする。
- 数学は積み重ねで、次につながっていくので、分からないことはそのままにしない。
- 授業や宿題の理解だけで満足せず、人に説明できる力がついているかを確認する。
- 解答を写した問題は、必ずもう一度解き直し、自分の力で解けるようにする。
- ワークは最低1周解く。2周、3周すると力がつく。

令和7年度 第3学年 理科 年間指導・評価計画（年間140時間）

目標	・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
----	---

○理科 A

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5 6 ◆ 7	9	水溶液とイオン ★	水溶液の電気伝導性や電極に生成する物質を調べる実験などから、イオンの存在や生成が原子のなり立ちに関係することを理解し、イオンの概念を形成させる。	①化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子のなり立ちとイオンについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (実験ノート、小テスト、定期テスト) ②水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 (実験ノート、定期テスト) ③水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (行動観察、振り返りシート)
	10	酸、アルカリとイオン	実験を通して酸性、アルカリ性を示す水溶液の特性を調べ、酸とアルカリそれぞれに共通する性質を見いだすと共に、その性質が水素イオン、水酸化物イオンによることを理解する。そして、酸とアルカリを混ぜて中和させる実験を行い、水と塩ができる事をイオンのモデルと関連付けて理解させる。	①化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、酸・アルカリ、中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (実験ノート、定期テスト) ②水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 (ワークシート、実験ノート、定期テスト) ③水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (行動観察、振り返りシート)
	10	化学変化と電池 ★ ☆	「水溶液とイオン」の学習を受けて、電池の仕組みについて、イオンと関連付けて微視的に捉える。また、実験を通して金属によって陽イオンへのなりやすさが異なることや、電池の中での化学変化について見いだす。実用的な電池の例としてダニエル電池を取り上げ、その制作を行い仕組みを理解する。	①化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (実験ノート、定期テスト) ②化学変化と電池について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 (ワークシート、実験ノート、定期テスト) ③化学変化と電池に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (行動観察、振り返りシート)
7 9 9 10	10	物体の運動	日常生活と関連付けて物体の運動のようすを観察し、物体の運動には速さと向きのあることを学ぶ。例えば、記録タイマーを使って物体の運動を記録する方法を習得する。その際、等速直線運動、斜面を下る運動、自由落下などについて実験を行い、一定時間ごとの移動距離や速さを調べる。	①運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (実験ノート、小テスト、定期テスト) ②運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係

11				性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 (実験ノート、定期テスト) ③運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (行動観察、振り返りシート)
	8	力のはたらき方 ★	身のまわりの事例をもとに、力のはたらき方の規則性について学習する。例えば、力の合成と分解については、橋や建築物などの事例から導入し、実験を通して角度をもつてはたらく 2 力の規則性を見いだす。また、慣性の法則、作用・反作用の法則についても学ぶ。	①力のつり合いと合成・分解、運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、水中の物体にはたらく力、力の合成・分解、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (実験ノート、小テスト、定期テスト) ②力のつり合いと合成・分解、運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 (実験ノート、定期テスト) ③力のつり合いと合成・分解、運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (行動観察、振り返りシート)
	13	エネルギーと仕事	力学的エネルギーについては、ジェットコースターやふりこの運動の事例から、位置エネルギーや運動エネルギーがどのように変化するかについて学ぶ。仕事については、エネルギーの概念をおさえたうえで、仕事と力と距離の関係や、仕事の単位と求め方について学ぶ。さらに、仕事の原理、および仕事率についてもおさえる。	①力学的エネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (実験ノート、小テスト、定期テスト) ②力学的エネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 (実験ノート、定期テスト) ③力学的エネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (行動観察、小テスト、振り返りシート)
11 12	12	生物の成長と生殖	生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。生物の成長とふえ方について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現する。生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	①生物の成長と殖え方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物の殖え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (実験ノート、定期テスト) ②生物の成長と殖え方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 (実験ノート、定期テスト) ③生物の成長と殖え方に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (行動観察、振り返りシート)
	7	遺伝の規則性と遺伝子 ☆	遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。遺伝の規則性と遺伝子について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、遺伝の規則性と遺伝子についての特徴や規則性を見いだして表現する。遺伝の規則性と遺伝子に	①遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (小テスト、定期テスト) ②遺伝の規則性と遺伝子について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、遺伝現象についての特徴や

12 1			関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 (実験ノート、定期テスト) ③遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (行動観察、振り返りシート)
	6	生物の多様性と進化	生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。生物の種類の多様性と進化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現する。生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	①生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 (小テスト、定期テスト) ②生物の種類の多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 (実験ノート、定期テスト) ③生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (行動観察、振り返りシート)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

○理科 B

月	時間	【領域】 題材名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5 6 ◆	6	地球の運動と 天体の動き ★	天体が日周運動をしたり、季節によって星座の見え方が変わったりすることを、観察や実習を通して見だし、それらが地球の自転や公転、地軸の傾きによることを理解する。また、地球が地軸を傾けたまま公転していることから、季節の変化が生じることを確かめ、その理由を考察する。	①身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (授業ノート、ワークシート、定期テスト) ②天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 (授業ノート、ワークシート、定期テスト) ③天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (授業ノート、行動観察、振り返りシート)
7 8 9 ◆	7	月と金星の見え方	月が周期的に見え方を変えていくことを観察や実験を通して理解する。その後で、金星など惑星の見え方にも決まりがあることを、モデルを使って考え、理解する。内惑星と外惑星で見え方に違いがあることも理解する。	①身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (授業ノート、ワークシート、定期テスト) ②月や金星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 (授業ノート、ワークシート、定期テスト) ③月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (授業ノート、行動観察、振り返りシート)
		宇宙の広がり ◇	月や金星の学習とのつながりから、太陽系の他の天体の特徴をおさえる。地球は、恒星である太陽を回る惑星の1つで、太陽と太陽のまわりを回る天体	①身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験など

			をまとめて太陽系ということも学習する。	どに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (授業ノート、ワークシート、定期テスト) ②太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 (授業ノート、ワークシート、定期テスト) ③太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (授業ノート、行動観察、振り返りシート)
10 11 ◆ 12	6	自然のなかの生物	日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。身近な自然環境を調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全のあり方について、科学的に考察して判断する。 生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	①日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (授業ノート、ワークシート、定期テスト) ②生物について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。 (授業ノート、ワークシート、定期テスト) ③生物に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (授業ノート、ワークシート、行動観察、振り返りシート)
	4	自然環境の調査と保全	日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。身近な自然環境を調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全のあり方について、科学的に考察して判断する。生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	①日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全、地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (授業ノート、ワークシート、(発表)) ②環境について、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。 (授業ノート、ワークシート、振り返りシート) ③環境に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (授業ノート、ワークシート、行動観察、振り返りシート)
	1 2 ◆ 3	科学技術と人間	具体的な事例を通して科学技術の発展の過程や現代における状況を学習するとともに、様々な科学技術の利用によって人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。また、自然災害と地域のかかわりについて学ぶ。	①日常生活や社会と関連づけながら、エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (授業ノート、ワークシート) ②日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境の保全と科学技術の利用について、観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断したりするなど、科学的に探究している。 (授業ノート、ワークシート、行動観察、振り返りシート) ③エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 (授業ノート、ワークシート、行動観察、振り返りシート)
	2	持続可能な社会をつくるために	これまでに学習してきた科学技術が、私たちの生活を豊かにし、人間の活動が環境に変化を与えていることを理解し、持続可能な社会をつくることが重要であるということも認識する。	①経済活動と資源、環境を関連づけながら、生物相の変化、資源の減少などを理解し、それに対する科学技術や社会的取り組みから、持続可能な社会に向けた行動判断のもとになる科学的調査(文献調査もふくむ)の技能を身につけている。 (授業ノート、ワークシート、行動観察) ②資源・環境の持続性について問題を見だし、身のまわりの調査活動をレポートにまとめ、科学的に考察して、持続可能な社会に向けての行動を判断している。

			(ワークシート、行動観察、振り返りシート) ③これまでの理科学習について進んでふり返り、持続可能な社会の実現案を出すための探究を計画し、科学的に探究しようとしている。 (ワークシート、行動観察、振り返りシート)
--	--	--	---

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評 価 の 方 法	・提出物 (ワークシート、グラフ) ・小テスト、定期テスト	・提出物 (ワークシート、ノート) ・小テスト、定期テスト	・授業態度 ・提出物 (ワークシート、実験レポート) ・小テスト、定期テスト

学習のアドバイス

(1)授業態度

○普段の授業

- ・自然事象に興味をもって授業に参加しましょう。
- ・友だちの発表を聞きもらさないようにし、自分の考えとの違いや共通点を見つけましょう。
- ・発表するときや、班で活動・相談するときは自分の考えを積極的に相手にわかりやすく伝えるようにしましょう。
- ・先生の指示をよく聞き、安全に実験・観察できるようにしましょう。
- ・板書を写すだけでなく、先生が話した内容等で補足しながらわかりやすくまとめましょう。

○実験・観察

- ・説明をしっかりと聞き、ペアや班全員で取り組み、見ているだけの人がいないようにしましょう。
- ・積極的に参加し、安全には十分注意しましょう。
- ・手順どおりに作業し、結果を出すだけでなく、結果からしっかりと考察しましょう。
- ・方法や結果、自分の考察をまとめておきましょう。

(2)提出物

- ・期限をしっかりと守り提出しましょう。また、指示された内容がすべて書いてあるか、適切な内容がしっかり確認しましょう。指示がなかったものでも、必要に応じて追加したり、補足資料として一緒に提出したりしましょう。

(3)単元ごとのふりかえり

- ・ノート、教科書や資料集を用いて、語句を確認しましょう。また、その語句を説明できるようにしておきましょう。
- ・ワークやプリントの問題を繰り返し解きましょう。特に一度間違った問題は重点的に解くとよいでしょう。
- ・実験や観察の手順や器具の使い方を確認しましょう。
- ・実験や観察の結果から導き出せる法則や定理を文章で説明できるようにしておきましょう。
- ・学習した日のうちに問題を解き、わからないところや間違ったところをしっかりと確認しましょう。
- ・復習をしていてわからないことや疑問に思うことは、先生に聞き、解決しておきましょう。
- ・実験や観察の結果をまとめましょう。
- ・授業のノートや教科書をもとに、新しく学習した用語をきちんと理解しましょう。
- ・学習した内容と身近な科学事象との関わりを調べ、ノートにまとめましょう。
- ・計算問題や作図は繰り返し解きましょう。
- ・一度解いた問題も繰り返し解き、知識を定着させましょう
- (間違ったところは、何が間違っていたのかをきちんと確認しておきましょう。)
- ・不思議に思う身近な科学事象についてどんどん調べていきましょう。
- ・学習したことが身のまわりのどんなところでおこっているのか、利用されているのか調べてみましょう。

令和7年度 第3学年 英語科 年間指導計画・評価計画(年間 140 時間)

目標	これまでの自分のことや社会的な問題などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。
----	---

評価の観点:①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4	11	Unit 1 Virtual Safari Tour	・記事から、質問の答えに必要な情報を読み取ることができる。 ・記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表することができる。	①受け身の文,「let/help+人・もの+動詞の原形」,「tell+人+that+文」の意味・形・使い方を理解している。 ②質問に答えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた記事から、必要な情報を読み取っている。 ③質問に答えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた記事から、必要な情報を読み取ろうとしている。
5	2	Daily Life 1 計画を立てよう	・音声を聞いて、質問された内容に答えることができる。	①be going to、曜日や時刻を表す語句、want to～など、予定や希望を表す表現や語句の意味や働きを理解している。
6	11	Unit 2 Our School trip	・話し合いを聞いて、話し手の要点を捉えることができる。 ・聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりすることができる。	①現在完了形の「完了」や「経験」の用法の意味・形・使い方を理解している。 ②参加するコースを決めるために、聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりしている。 ③グループで参加するコースを決めるために、聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりしようとしている。
6 ◆	2	Daily life2 留守番電話	・留守番電話を聞いて要件を把握し、返答をすることができる。	①不定詞の副詞的用法、Could you～? など依頼を表す表現や語句、接続詞 if、交通手段や場所や持ち物に関する語句の意味や働きを理解している。
7	11	Unit3 Lessons From Hiroshima ◇	・ある人物の手記を読み、おおまかな内容を捉えることができる。 ・読んだ手記の感想や考えをレポートに書くことができる。	①現在完了形の「継続」の用法、現在完了進行形、「疑問視+to+動詞の原形」の意味・形・使い方を理解している。 ②平和のためにできることを考えるきっかけをするために、手記を読み、おおまかな内容を捉えている。
7	3	Active Grammar1 現在完了形/現在完了進行形	・現在完了形や現在完了進行形の形や意味、働きを理解することができる。	①現在完了形や現在完了進行形の文の意味・形・使い方を理解している。
8	4	Let's Read1 Visas for 6,000 Lives	・伝記を読み、その人物の功績をおおまかに捉えて、その内容を自分の言葉で説明することができる。	①時間の経過や人物の行動・思いを表す表現や語句などの意味や働きを理解している。 ②杉原千畝の功績を知るために、伝記を読み、おおまかな内容を捉えている。
9	2	You Can Do It!1 学校生活について意見をまとめよう	・話し合いの中で意見をまとめることができる。	①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 ②海外の中学生たちと意見交換をするために、学校生活について書かれた意見文を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。
9 ◆	2	World Tour1 Speak Up!	・人物の紹介する紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えることができる。	①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。
10	11	Unit4 AI Technology and Language	・投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉えることができる。 ・読んだ投稿文についての自分の意見を整理して書くことができる。	①関係代名詞 which,who,,that が主語となる文の意味・形。使い方を理解している。 ②外国語を学ぶことの意義について考えるために、4人の投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉えている。 ③外国語を学ぶことの意義について考えるために、4人の投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉えようとしている。
10	5	Let's Read2 Living with Robots	・説明文を読んで要点を捉え、自分の考えを書いて紹介することができる。	①「let(help)+人・もの+動詞の原形」、関係代名詞 which,who, That が主語となる文、動作を表す語句などの意味や働きを理解している。 ②新しい技術やロボットと人間との関係について考えるために、説明文を読み、要点を捉えている。
10	2	Daily life3 レシピ	・レシピから、必要な情報を読み取ることができる。	①調理に関わる動作や道具を表す語句、前置詞句などの意味や働きを理解している。

11	◆	11	Unit5 My Dreams for the Future	・プレゼンテーションの原稿を読み、概要を捉えることができる。 ・調べたことや自分の考えを、順序立てて発表することができる。	①関係代名詞 which, that が目的語となる文や後置修飾の意味・形・使い方を理解している。 ②世界にはどんな課題があるのかを考えるために、プレゼンテーションの原稿を読んで、おおまかな内容を捉えている。 ③世界にはどんな課題があるのかを考えるために、プレゼンテーションの原稿を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。
		2	Daily life4 講演	・講演を聞いて、おおまかな内容を捉え感想を書くことができる。	①環境問題に関する語句や、資料を示す時に用いる語句や表現などの意味や働きを理解している。
12		11	Unit6 The Chorus Contest	・おすすめの作品について話を聞き、おおまかな内容を捉えることができる。 ・おすすめの作品について、詳しい情報を伝え合うことができる。	①動詞の-ing 形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文の意味・形・使い方を理解している。 ②旅立つ友達に贈るプレゼントの参考にするために、登場人物のおすすめの作品についての会話を聞いて、大まかな内容を捉えている。 ③旅立つ友達に贈るプレゼントの参考にするために、登場人物のおすすめの作品についての会話を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。
		3	Active Grammar2 後置修飾	・後置修飾の形や意味、働きを理解することができる。	①後置修飾を使った文の意味・形・使い方を理解している。
1		2	You Can Do It!2 持続可能な社会に向けてリポートしよう	・情報をもとに考えを整理して伝えることができる。	①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 ③世界の10代の若者による持続可能な社会に向けた取り組みについて知るために、報告から要点を捉えようとしている。
		2	World Tour2 If the World Were a Village of 100 People	・世界の現状について紹介する音声聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。	①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。
2	◆	9	Unit7 Tina's Speech	・スピーチを聞いて、伝えている内容の要点を捉えることができる。 ・伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをすることができる。	①If I could~, I wish I could~の仮定法の文の意味・形・使い方を理解している。 ②登場人物の思い出に残っていることを知るために、スピーチを聞いて、内容を要点を捉えている。 ③登場人物の思い出に残っていることを知るために、スピーチを聞いて、内容を要点を捉えようとしている。
		4	Let's Read3 Changing the World	・スピーチ原稿を読んで要点を捉え、それに対する自分の考えを伝え合うことができる。	①「want+人+不定詞」、「疑問詞+to+動詞の原形」、間接疑問文、If...の仮定法などの意味や働きを理解している。
3		2	Active Grammar3 仮定法	・仮定法の形や意味、働きを理解することができる。	①仮定法の意味・形・使い方を理解している。
		9	Unit8 Goodbye, Tina	・手紙から、書き手が伝えたい気持ちを読み取ることができる。 ・表現を工夫して、自分の気持ちを伝える手紙を書くことができる。	①既習の表現、語句の意味や働きを理解している。 ②大切な人に感謝の気持ちを伝えるために、内容や表現を工夫して、手紙を書いている。 ③大切な人に感謝の気持ちを伝えるために、内容や表現を工夫して、手紙を書こうとしている。
		2	You Can Do it!3 自分たちのこれからに言葉を贈ろう	・大切な人や自分に宛てて気持ちを表現することができる。	①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 ③友達やこれからの自分を応援するために、内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言葉を書こうとしている。
		2	Let's Read More1 Elections in Norway	・記事を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。	②日本とノルウェーの選挙の様子の違いを知るために、記事を読み、おおまかな内容を捉えている。
		2	Let's Read More2 Fight for Equality ☆	・伝記を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。	②人種差別に立ち向かった少女について知るために、伝記を読み、おおまかな内容を捉えている。
		3	Let's Read More3 The Adventures of Tom Sawyer	・物語の一部を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。	②150年ほど前の話が現代の私たちにも通じるかを確かめるために、「トム・ソーヤーの冒険」の一部を読み、おおまかな内容を捉えている。

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用する技能を身につけている。	○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評 価 の 方 法	○定期考査 (1学期 期末考査 2学期 中間考査 期末考査 3学期 学年末考査) ○小テスト	○定期考査 (1学期 期末考査 2学期 中間考査 期末考査 3学期 学年末考査) ○小テスト ○パフォーマンステスト ○教科書の音読 ○提出物	○パフォーマンステスト ○提出物 ・ノート ・プリント ○ワークブック

学習のアドバイス

(1)授業態度

- ・必要なものをきちんと揃え、進んで授業に参加する。
- ・集中して授業に臨み、先生の話やクラスメイトの意見から学ぼうとする。
- ・自身の学習に関する能力をしっかり把握し、伸ばすために努力をする。

(2)提出物

- ・計画的に学習を進め、内容を推敲した上で期限を守って提出する。

(3)単元ごとのふりかえり

- ・自分の課題を把握し、足りない箇所の理解を進める。
- ・学習した基本の文法事項を理解し、応用できるようになるまでワークなどを用いて何度も繰り返す。
- ・教科書の本文に関して、音読しながら内容を理解できるようになるまで何度も読み込む。

令和7年度 第3学年 音楽科 年間指導・評価計画（年間35時間）

目標	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、音楽の多様性について理解する。 ・創意工夫をいかした音楽表現するのに必要な、歌唱、器楽創作の技能を身につける。 ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ・音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かにしていく態度を養う。
----	--

評価の観点:①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	題材名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 ～ 5	6	日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう 「花」「花の街」◇	曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解すると共に、それらをいかした歌唱表現を創意工夫して歌う。	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解している。(定期考査) ② 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図を持っている。(ワークシート) ③ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察)
5 ～ 10 ◆	4	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう 「ブルタパ」◇	音楽の特徴を、音楽を形作っている要素や、構造、曲想との関わり、背景などから理解し、そのよさを味わう。	① 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。(定期考査) ② 音色・旋律・リズム・強弱・速度・ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート) ③ 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心を持ち音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察)
	7	曲の構成や曲想の変化を生かして歌唱表現を工夫しよう 「合唱コンクールの合唱曲」◇	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。	① 創意工夫をいかした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを身につけ歌唱で表現している。(実技テスト) ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えどのように歌うか思いや意図を持っている。(ワークシート・定期考査・実技テスト) ③ 音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察)
10	2	曲想と音楽の構造との関わりを理解してその魅力を味わおう 「ボレロ」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わう。	②音色・旋律・形式・構成・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート・授業観察・定期考査))
	3	曲想や語感を生かして表現を工夫しよう 「帰れソレントへ」「Let It Be」	背景をとらえることで、音楽の多様性を理解し、曲想を生かして表情豊かに歌う。	① 声の音色や響きおよび言葉の特性と曲趣に応じた発声との関わりについて理解している。(定期考査) ② リズム、速度・強弱・旋律を知覚し、その働きが生み出す雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図を持っている。(ワークシート・授業観察)

11 ◆	2	日本の伝統音楽の特徴を理解してその魅力を味わおう 「楽鶴鈴慕」	我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさ、美しさを味わって聴く。	② 音色・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えると音楽表現の共通性や固有性について考えるとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート)
11 ～ 12	4	言葉のつながりを生かして創作表現をしよう 「My Melody」	音階の特徴および音のつながり方について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽を作る。	① 音階の特徴および音のつながり方の特徴について理解している。(ワークシート) ① 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につけ創作で表している。(ワークシート) ② リズム・旋律・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えまとまりのある創作表現としてどのように表すか思いや意図を持っている。(ワークシート)
12 ～ 1	2	能の特徴を理解してその魅力を味わおう 能「敦盛」	音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽を味わって聴く。 謡の特徴をとらえ、曲趣に応じた発声で歌う。	② 音色・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聞いている。(ワークシート)
1 ～ 3	5	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。	① 創意工夫をいかした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを身につけ歌唱で表現している。(実技テスト) ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか思いや意図を持っている。(ワークシート) ③ 音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・曲想と音楽を形作っている要素との関わりを理解している。 ・歌唱・器楽・創作表現をするために必要な技能を身につけている。	・音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表現するか思いや意図を持っている。また、曲や演奏に対する評価とその根拠を考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・曲想と音楽を形作る要素との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。
評 価 の 方 法	・実技テスト ・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・実技テスト ・定期考査	・授業観察 ・提出物 ・定期考査

学習のアドバイス

(1)授業態度 いつでも積極的に取り組みましょう。忘れ物がないようにしましょう。

(2)提出物 指定された期限に必ず出しましょう。丁寧に記入しましょう。

(3)ふりかえり 定期テストの前には必ず復習をしましょう。音楽の表現に関する言葉、記号、その意味についてはしっかり覚えましょう。

令和7年度 第3学年 美術科 年間指導・評価計画(年間 35 時間)

目 標	・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てる。 ・感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
-----	---

評価の観点:①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時 間	【領域】 単元名	単元のねらい 【教材】	評価規準 (評価方法)
4	1	ガイダンス	授業で用いる教材や年間の授業計画を確認し、1 年間の活動の見通しをもつ。	
5	2	【鑑賞／彫刻】 仏像彫刻 ～仏像に宿る心～ 教科書 2・3 年上 P.12～13 「仏像に宿る心」	仏像彫刻を題材に鑑賞し、その表情や動きから感じたことや考えたことを話し合いながら、作品に対する理解や感じ方を深め、作品の良さや美しさを味わう。 【教材】 釈迦如来三尊像、阿修羅像など	① 仏像彫刻の特徴を理解している。 (定期テスト) ② 仏像彫刻の形や色彩から自分なりの思いや考えをもって味わっている。(鑑賞レポート) ③ 仏像彫刻の鑑賞に関心をもち、意欲的に鑑賞しようとしている。(授業の様子、提出状況)
6	8	【表現／絵画】 立体的なイラスト ～透視図法と立体的な色彩～ 教科書 2・3 上 P.12～13 「視点の冒険」 教科書 1 P.62 「遠近感を表す」	課題文をテーマとして、透視図法を用いて、立体的なイラストを表現する。 【教材】 A4 ケント紙、アクリルガッシュなど	① 透視図法や色彩による立体表現を理解し、用具の扱いや描き方を工夫し、美しく作品を表現している。 (作品・定期テスト) ② 透視図法や立体的な色彩の効果を生かして作品の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 立体的な表現に関心をもち、意欲的に表現しようとしている。(授業の様子)
◆	1	1 学期期末考査 (6 月)		
7	2	【表現／デザイン】 明るい選挙ポスター ～視覚で伝えるデザイン～ 教科書 2・3 上 P.40～41 「その一枚が心を動かす」 ※夏休みの宿題で仕上げる ☆公共性	ポスターの表現活動をととして、作品の目的や他者に伝えたいことを基に作品の構想を練り、材料や用具の扱いを工夫して表現する。 【材料】 4 つ切 ケント紙、アクリルガッシュなど	① 他者に情報を伝えるための色彩や形の効果に関する知識を身に付け、文字の描き方や絵具の塗り方を工夫して作品を表現している。(作品・定期考査) ② 目的や見る人の気持ちを基に、色彩や形の効果を考え、作品の構想を練っている。 (ワークシート・定期考査) ③ 目的や伝えたいことを基に表現する活動に関心をもち、意欲的に表現に取り組んでいる。 (授業の様子、提出状況)
9	9	【表現／工芸】 練り切りのデザイン ～粘土で表す和・季節・美～ 教科書 2・3 年上 P.34～35 「季節を楽しむ心」 ★文化	日本の伝統的な和菓子について理解するとともに、「春夏秋冬」をテーマに主題を生み出し、季節や風土をテーマに形や色彩の効果を生かして表現の構想を練り、粘土やへうなどの扱いを工夫して作品を表現する。 【教材】 樹脂粘土、アクリルガッシュなど	① 粘土や和の表現について理解し、表現の構想を基に、表現方法を工夫して和菓子を表現できている。 (作品・定期考査) ② 「春夏秋冬」をテーマに主題を生み出し、形や色彩の効果を考えて和菓子の構想を練っている。 (ワークシート・定期考査) ③ 和菓子に込められた主題に関心をもち、意欲的に表現活動に取り組むことができる。 (授業の様子、提出状況)
◆	1	2 学期期末考査 (11 月)		
12	2	【鑑賞／デザイン】 東京オリンピックポスター 亀倉雄策 ★精神	東京オリンピックのポスターを題材に鑑賞し、その表現の特徴から感じたことや考えたことを話し合いながら、ポスターに対する理解や感じ方を深め、その良さや美しさを味わう。 【教材】 亀倉雄策「東京オリンピックポスター」	① 亀倉雄策の作品の特徴や表現の効果について理解している。(定期考査) ② 形や色彩から自分なりの思いや考えをもって味わっている。(ワークシート) ③ 亀倉雄策のポスターの鑑賞に関心をもち、意欲的に鑑賞しようとしている。 (授業の様子、提出状況)

1	2	【鑑賞／絵画】 ピカソの自画像 ～作品に込められた思い～ 教科書 2・3 下 P.26～29 「ゲルニカの悲劇」	自画像を題材に鑑賞し、その色彩や表情から感じたことや考えたことを話し合いながら、作品に対する理解や感じ方を深め、作品の良さや美しさを味わう。 【教材】 ピカソ、ゴッホなどの自画像	① ピカソの自画像などの作品の特徴について理解している。(定期考査) ② 形や色彩から自分なりの思いや考えをもって味わっている。(鑑賞レポート) ③ ピカソなど芸術家の自画像の鑑賞に関心をもち、意欲的に活動に取り組んでいる。 (授業の様子、提出状況)
		【表現／絵画】 自画像デッサン ～今を生きる私へ～ 教科書 2・3 下 P.8～11 「今を生きる私へ」 ◇A(5)心理の探求、創造	「今を生きる私」をテーマに、自分自身と見つめ、主題を生み出し、主題を基に形や色彩の効果を生かして表現の構想を練り、木炭や練消しゴムの扱いを工夫して表現する。 【教材】 木炭紙、木炭、練りゴムなど	① 木炭や練消しゴムなどの描画用具や表現技法の基礎的知識を身に付け、それらの生かし方を考え、工夫して表現できている。(作品・定期考査) ② 自分自身を見つめ感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、表現の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 自分自身を見つめ、感じたことを基に主題を生み出し、意欲的に表現しようとしている。 (授業の様子、提出状況)
2	5			
3	1	3学期期末考査 (2月) 3年間の振り返り ～明日への巣立ち～ 教科書 2・3 下 P.60～61 「明日への巣立ち」	3年間の学習を振り返り、自身が学んだことを確認するとともに、今後はどう生かしていくか考える。	

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に取り組む態度
評価の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	・制作過程、道具の使い方 ・作品 ・定期考査	・ワークシート ・作品 ・制作過程、アイデアスケッチ ・定期考査	・授業の様子 ・持ち物、準備 ・作品等の提出状況

学習のアドバイス

【授業】

- ① 作品や用具などの準備を素早く行おう。忘れ物には注意しよう。
- ② 活動中に無用な私語をせず、集中して取り組もう。
- ③ 作品や用具などの片付けを素早くし、その日の活動を振り返ろう。
- ④ 必要に応じて表現のための資料を家庭等で準備しよう。
- ⑤ 表現活動のペースを調整し、適切な進度を保とう。(ペースが遅ければ家庭等で進め、早ければ工夫できる点を探そう。)
- ⑥ 提出物は、期限を守って提出しよう。

【テスト勉強】

- ① 授業中に配布されたプリントをしっかりと確認しよう。
- ② 練習問題に取り組み、自分の理解度を確認しよう。分からないところはプリントで確認しよう。

令和7年度 第3学年 保健体育科 年間指導・評価計画(年間105時間)

目標	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。
----	--

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	【領域】 単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4	7	【 体づくり運動 】 体ほぐしの運動 体力を高める運動	【ねらい】 ・体ほぐしの運動では、心と体は互いに影響し変化することに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動を行えるようにする。 ・体力を高める運動では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てて取り組めるようにする。	①運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解できる。 ②自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。 ③体づくり運動に自主的に取り組むとともに、体力の違いに配慮しようとする、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。
4 5	10	【 陸上競技 】 短距離走・リレー	【ねらい】 ・クラウチングスタートから中間走へのつなぎを滑らかにするなどして、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、短距離特有の技能を身に付けることができるようにする。 ・オリンピックと陸上競技の関係について理解する。	①技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができる。合理的なフォームを身に付けたり、個人やリレーチームのタイムを短縮したり、競走したりできる。 ②自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ③自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保している。
6 7	6	【 球技 】 ゴール型 ハンドボール	【ねらい】 ・ハンドボールの特性、個人的技能、戦術等について理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の学習に自主的に取り組み、フェアなプレイを大切にすること、自己の責任を果たすことや、話し合いに貢献することなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、運動観察の方法などを理解し、対戦相手を踏まえて、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができるようにする。	①技術や戦術、作戦の名称があり、それらをゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであること、技術はボール操作とボールを持たないときの動きに大別できることを理解できている。安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによって、ゴール前への侵入などから攻防を展開することができる。 ②学習した知識や技能を活用して、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保している。
6 7 ◆	8	【 水泳 】 平泳ぎ 背泳ぎ	【ねらい】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の学習に自主的に取り組み、ルールやマナーを大切にすることや、自己の責任を果たすことなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 ・オリンピックと水泳の関係について理解できるようにする。	①技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりできる。背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。複数の泳法で泳ぐことおよびリレーをすることができる。 ②学習した知識や技能を活用して、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保している。

9 10	6	【 球 技 】 ネット型 バドミントン	【ねらい】 ・バドミントンの特性、個人的技能、戦術等について理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の学習に自主的に取り組み、フェアなプレイを大切にすること、自己の責任を果たすことや、話し合いに貢献することなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、運動観察の方法などを理解し、対戦相手を踏まえて、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができるようにする。	①技術や戦術、作戦の名称があり、それらをゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであること、技術はボール操作とボールを持たないときの動きに大別できることを理解できる。ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 ②学習した知識や技能を活用して、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保している。
9 10	8	【 武道 】 柔道☆☆	【ねらい】 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技を高めることによって得意技を身に付けることができるようにする。また、武道の学習に自主的に取り組み、相手を尊重し、武道の伝統的な行動の仕方を大切にすることや、自己の責任を果たすことなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、見取り稽古の仕方などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができるようにする。 ・柔道とオリンピックの歴史や関係性について理解する。	①相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技、得意技や連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防を展開することができる。 ②学習した知識や技能を活用して、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保している。
10 11 ◆	8	【陸上競技】 長距離走	【ねらい】 ・発達段階において中学生期に最も発達する心肺機能の向上をねらいとして、1000m や 1500m を何分で走れるか、自己の課題に向けて努力をし、達成できた喜びや励まし合うことの大切さなどを身に付けていくことができるようにする。	① 陸上競技の特性に応じた基本的な動きや効率のよい動きを身に付けている。 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している。 ② 陸上競技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 陸上競技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすることや健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
11 12	9	【 器械運動 】 マット運動	【ねらい】 ・技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の学習に自主的に取り組み、よい演技を讃えることなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、挑戦する技の行い方や自主的な学習を行う上で必要となる運動観察の方法などを理解し、自己に適した技を見付けるなど、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする ・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行い、条件を変えた技、発展技を行うこと、それらを構成し演技することを通して、技ができる楽しさや喜びを味わうことができるようにする。	①新たに学習する技の系、技群、グループの系統性の名称やそれぞれの技の局面における技術的なポイントなどを理解できる。技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 ②学習した知識や技能を活用して、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする、自己の責任を果たそうとするなどや、健康・安全を確保している。
11 12	8	【 球 技 】 ベースボール型 ソフトボール	【ねらい】 ・ソフトボールの特性、個人的技能、戦術等について理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の学習に自主的に取り組み、フェアなプレイを	①技術や戦術、作戦の名称があり、それらをゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであること、技術はボール操作とボールを持たないときの動きに大別できることを理解できる。易しい投球に対

			大切にすること、自己の責任を果たすことや、話し合いに貢献することなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、運動観察の方法などを理解し、対戦相手を踏まえて、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができるようにする。	する安定した打撃により出塁・進塁・得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防を展開ができる。 ②学習した知識や技能を活用して、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保している。
1 2	6	【 球技 】 ネット型 卓球	【ねらい】 ・卓球の特性、個人的技能、戦術等について理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の学習に自主的に取り組み、フェアなプレイを大切にすること、自己の責任を果たすことや、話し合いに貢献することなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、運動観察の方法などを理解し、対戦相手を踏まえて、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができるようにする。	①技術や戦術、作戦の名称があり、それらをゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであること、技術はボール操作とボールを持たないときの動きに大別できることを理解できる。ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 ②学習した知識や技能を活用して、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保している。
1 2 3	7	【 球技 】 ゴール型 サッカー	【ねらい】 ・サッカーの特性、個人的技能、戦術等について理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の学習に自主的に取り組み、フェアなプレイを大切にすること、自己の責任を果たすことや、話し合いに貢献することなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、運動観察の方法などを理解し、対戦相手を踏まえて、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができるようにする。	①技術や戦術、作戦の名称があり、それらをゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであること、技術はボール操作とボールを持たないときの動きに大別できることを理解できる。安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによって、ゴール前への侵入などから攻防を展開することができる。 ②学習した知識や技能を活用して、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保している。
2 3	6	【 球技 】 ネット型 テニス	【ねらい】 ・テニスの特性、個人的技能、戦術等について理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の学習に自主的に取り組み、フェアなプレイを大切にすること、自己の責任を果たすことや、話し合いに貢献することなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、運動観察の方法などを理解し、対戦相手を踏まえて、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができるようにする。	①技術や戦術、作戦の名称があり、それらをゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであること、技術はボール操作とボールを持たないときの動きに大別できることを理解できる。ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 ②学習した知識や技能を活用して、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保している。
2 3 ◆	3	【 体育理論 】 文化としてのスポーツ の意義 ★☆☆	・文化としてのスポーツの意義を理解できるようになるために、スポーツの文化的意義や、オリンピックなどの国際的大会が国際親善に役立っていること、人々の交流の働きをもつことを理解する。	①文化としてのスポーツの意義について理解している。 ②文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 ③文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。

2. 学習計画(保健)

通 年	13	【健康な生活と疾病の予防】 ・感染症の予防 ・個人の健康を守る社会の取り組み ・医薬品の有効利用 【健康と環境】 ・環境への適応能力 ・快適な環境の条件 ・空気の汚れと換気 ・水の役割と飲料水の条件 ・生活にともなう廃棄物の処理 ・環境問題への取り組み	・感染症の原因や予防、性感染症・エイズの疾病概念や感染経路や予防について理解する。 ・個人の健康は個人の努力と社会の取り組みによって成り立っていることを理解する。 ・医薬品は正しく使用することの必要があることを理解する。 ・身体には環境への適応能力が備わっていることを理解する。 ・人間には活動しやすい至適範囲があることを理解する。 ・空気の汚れは定期的な換気によって管理できることを理解する。 ・水の役割や、飲料水の水質については一定の基準が設けられており、科学的な方法により検査され管理されていることを理解する。 ・人間の生活に伴って生じた廃棄物は、衛生的に処理されなければならないことを理解する。 ・環境汚染が健康に悪影響を及ぼすことがあること、環境汚染への対策を一人ひとりが実践していくことが大切であるということを理解する。	①健康な生活と疾病の予防、健康と環境について課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解している。 ②健康な生活と疾病の予防にかかわる事象や情報、健康と環境に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。 ③健康な生活と疾病の予防について、健康と環境について自主的に取り組もうとしている。
--------	----	--	--	--

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法および運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	運動や豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
評 価 の 方 法	・授業観察(技能・発言等) ・提出物の内容 ・学習カード ・実技試験 ・定期考査	・授業観察(動き・発言等) ・提出物の内容 ・学習カード ・実技試験 ・定期考査	・授業観察(発言等) ・提出物の状況・内容 ・学習カード

学習のアドバイス

(1)授業態度 【体育分野】 ○授業への実質的参加を第一に考えましょう。 ・健康管理に細心の注意をし、欠席、見学をしなくてもよいようにしましょう。 (見学の場合は、生徒手帳に保護者のサインをもらってこようこと。) ○安全への配慮をしましょう。 ・指定された体育着、体育館シューズを正しく身につけましょう(爪も短くしておいてください)。 ・準備や片づけなど、場の安全を確認してから行動しましょう。 ○課題意識をしっかりと持ちましょう。 ・何を目的として行っているのか、どうしたらうまく表現できるのか、意識して考えながら取り組みましょう。 ・教えあう仲間を大切にし、互いに学びあう関係を築きましょう。 ・学習カードを活用し、学びの振り返りをしましょう。 【保健分野】 ○課題意識をしっかりと持ちましょう。 ・健康を巡る諸問題を学びます。プリントまたはワークを活用し、学んだ内容を整理しておきましょう。 ・ともに考える仲間を大切にし、互いに学びあう関係を築きましょう。
(2)提出物 ・保健学習ノート ・学習カード ・タブレットでの提出物 ・その他指示があったもの
(3)単元ごとのふりかえり(定期考査) ○授業で学んだことが出題の範囲となります。 ・体育分野については、授業で行った内容を整理しましょう。また資料集で体の動きや種目のルールを確認しましょう。 ・保健分野については、授業で使ったプリントやスライド、教科書の内容、領域によっては実習の手順を確認しましょう。

令和7年度 第3学年 技術・家庭科(技術分野) 年間指導計画・評価計画(年間17.5時間)

目標	◎生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。 ◎ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
----	---

【 評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度 】

月	時間	【領域】 題材名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5 6 ◆ 7	1	ガイダンス	授業で用いる教材や年間の授業計画を確認し、1年間の活動の見通しを持つ。	③技術分野の学習に関心をもっている。 ②身の回りにある、情報の技術を利用した機器のサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。
	9	D 情報に関する技術 ◇ 「プログラミング」 オーロラクロック	○生活や社会と情報の技術 ○情報とコンピュータ ○情報セキュリティと情報モラル ○情報の表現と伝達 ○計測と制御 ・プログラム言語を理解し自分でプログラムを考え実行できる。	①応用ソフトウェアの操作ができる。 ③情報の学習内容に関心をもっている。 ②身の回りにある、情報の技術を利用した機器のサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ①情報通信ネットワークの構想と、情報を利用するための基本的な仕組みを説明できる。 ①情報セキュリティに関わる基礎的な仕組みを説明できる。 ①情報モラルの必要性和情報を発信する時の注意点について説明できる。 ②ネットワークの仕組みをもとに、情報モラル・セキュリティを説明できる。 ①知的財産を保護する必要性和利用方法を説明できる。 ③自分で計画した動作をするプログラム完成したか。 ②自分の考えが作品に生かされているか。 ①安全・適切なプログラムの制作、動作の確認ができる。 ②問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。 ③自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ② インターネットを利用して情報を収集することができる。 ② パソコンを利用して表現の方法を知る。
9 10 11 ◆	3	A 技術と加工の技術 「マグカップ作り」	・作品の作業手順や組み立て方法は正しいか。 ・デジタルツールを使用し、デザインが完成する。	①デジタルツールを使用し、制作できるか。 ③作品を計画通り完成させたか。
12 1 2 3	4	D 情報に関する技術	○双方向性のあるコンテンツによる問題解決	①ソフトの基本的な操作方法を理解している。 ①作品が制作できる。

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	【生活や技術についての知識・技能】 生活や社会で利用されている技術についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	【生活を工夫し創造する能力】 生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し、その解決を目指して、技術の評価、選択、管理・運用、改良、応用している。	【主体的に実践する態度】 進んで技術と関わろうとするとともに、主体的に技術に関する知識・技能を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。
評 価 の 方 法	【下記の評価資料にて、絶対評価を行う】 ○製作プリント ○定期考査 ○ワークシート ○作品 ※課題や作品等の状況からも知識・技能を評価する。	【下記の評価資料にて、絶対評価を行う】 ○定期考査 ○ワークシート ○製作作品の内容	【下記の評価資料にて、絶対評価を行う】 ○学習用プリント ○ワークシート ○製作の評価と反省

学習のアドバイス

- (1)授業態度 授業では作業の進め方やコツ、大切なことなどの必要なことを話します。話の内容が、確実に理解でき、作業が主体的にすすめられるような授業態度を求めます。
具体的に、このような態度をというよりは、生徒の皆さんそれぞれが、主体的に取り組めるようになっているかが大切です。
また、それは作業効率や作品の出来に大きく影響します。
ですから、自分からポイントを押さえて先生に助言を求めたり、意見をもらったりする姿勢が大切です。
- (2)提出物 提出物は期限を守ることが大切です。また、提出に関して、不明なことや不確かなことは、自ら先生に聞きましょう。
- (3)単元ごとのふりかえり 提出物や作品、定期考査などで、学習状況を自分自身で振り返られるよう技術の授業に精力的に取り組みましょう。

令和7年度 第3学年 技術・家庭科(家庭分野) 年間指導・評価計画(年間 17.5 時間)

目標	○生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生活と技能についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。 (2)生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
----	--

評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	題材名	題材のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
	1	ガイダンス	・授業で用いる教材や年間の授業計画を確認し、1年間の活動の見直しをもつ。	③1年間の授業計画を見通して、計画を立てることができる。 ①自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。
4 5	3	A 家族・家庭生活◇ 2、家庭のはたらきと家庭の仕事 3、様々な家族・家庭	・自分の成長と、家族や地域の人びとのかかわりと、自分自身の理解を深める。 ・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくすることができることを理解する。 ・自分や家族の生活は、誰かの活動によって、互いに支え合っていることに気づく。	①自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ②家族と家庭の機能について、問題を見だし課題設定している。 ②立場に沿って考えることができる。 ③家庭でも、クラスでもそれぞれ自分の役割があり、互いに支え合って生活している。自分は、家族の一員である。クラスの一員であること気づくことができる。
6 ◆ 7 9 10	7	A 家族・家庭生活 4、幼児の生活と家族☆ 5、幼児が安心できるかかわり 6、かかわり合う地域と家庭 7、持続可能な家庭生活	・自分の成長をふり返り、幼児期への関心をもつようにする。 ・人の一生の区分を理解する。 ・自分の成長をふり返り、幼児期への関心をもつようにする。 ・幼児の心身の発育について、発達の方性や順序とともに、個人差があることを理解する。 ・幼児の言語、認知、情緒、社会性などの発達について理解する。 ・子どもが育つ環境としての、家族や周囲のおとなの役割について理解する。 ・保育所、幼稚園、認定子ども園の役割について理解する。 ・自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとっての遊びの意義を理解する。 ・幼児にとって遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。 ・幼児とのふれ合いがどのような感じか DVD を通して、かかわり方を考える。 ・幼稚園に行ったつもりで、グループで幼稚園の先生になる人、幼稚園児になる人の役割を決め、自分で作ったおもちゃで、ロールプレイをしてそれぞれの気持ちを考えてみる。 ・子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で中学生ができることを考える。	①人の一生の区分を理解している。 ①幼児の身体の発育、運動機能の発達の特徴を理解している。 ①幼児の言語、認知、情緒、社会性の発達の特徴を理解している。 ③幼児の生活と家族について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。 ①保育施設の役割について理解している。 ①幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。 ①幼児との触れ合いとして、DVDを通して幼児とのかかわり方を学ぶことができる。 ②ロールプレイを通して、幼児との関わり方について改善点を見いだしている。 ②地域とのつながりを通して、今、地域でできることを考えようとしている。

11 ◆ 12 1 2 3	6.5	B 衣食住と生活 4、日常食の調理と地域の食文化	・調理の手順と流れがわかり、計画を立てることができる。	②調理手順と流れ、実習計画に課題をもって取り組もうとしている。
		B 衣食住と生活 C 消費生活 ・3年間の振り返り	・計画的に金銭管理をする必要があることがわかる。 ・班で協力して、時間内にそれぞれの調理をつくらることができる。	②高校生になってからの食生活について考え、金銭管理を考えようとしている。 ③それぞれの実習について、調理について工夫し実践しようとしている。
		A 家族・家庭生活 ・持続可能な家庭生活◇	・自分のワーク・ライフ・バランスについて考える。	①調理実習の材料と作り方を理解している。 ③自分のワークバランスについて、工夫し考えようとしている。

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、思考したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評 価 の 方 法	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート ・小テスト	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート

学習のアドバイス

- (1)授業態度 タブレット PC を活用した授業が多くなります。話を聞くときは手を止めるなど、緩急をしっかりとつけましょう。
- (2)提出物 提出物は期限を守る習慣をつけましょう。また、提出物の書き方に気をつけると、よいまとめになります。
- (3)題材ごとのふりかえり 定期テストの前にはワークシートやレポートの振り返りをしておきましょう。記述の練習も必要です。